



広い玄関に入り事務所を尋ねていくと奥の方から足早に出迎えたのは、今回取材に応じたいただいた、特別養護老人ホーム南松園に勤務されている川前勇樹さん。昼の休憩時間にもかかわらず、取材に応じていただいた。

勇樹さんは、南松園に勤め7年目になるそう、入園されているお年寄りの方々と家族のような感じで、取材の間も会話をされていた。

黒ぶちの眼鏡にやさしい顔立ちの勇樹さんだが、実は田代小学校から田代中・高校と剣道をされていた。田代中学校時代は、長い間途絶えていた剣道部をたった一人で復活させ、高校は、剣道で名門校の岐阜県中京商業高等学校に進学され、活躍されたそう。現在は、剣道4段の腕前を持っており、「今後は5段に挑戦していきたいが、今は介護の仕事に専念し、色々な介護の資格に挑戦したい」と話した。

取材の中で、勇樹さんはコッコツと二生懸命仕事に取り組んでおり、現在の勇樹さんの熱い思いの矛先は「介護の仕事」に向いているように思えた。

勇樹さんは現在、麓住宅に奥さんと住んでおり、地域の活動にも積極的に取り組んでいる。昨年まで麓住宅の自治会副会長をされるなど田代大好き人間でもある。奥さんは、ひかり保育園に勤務されており、二人とも錦江町で働きながらがんばっている。勇樹さんの奥さんの実家は、頼むで大規模にお茶を作っている。忙しい時期は、勇樹さんも手伝いにいくとのこと。奥さんは、勇樹さんの次に田代のお茶畑の風景や自然が、実家と同じように魅力を感じ気に入っているらしい。

勇樹さんに錦江町のどこが魅力的ですかと尋ねると、「とにかく過ごしやすい。自然豊かで地域性も環境も大好き。仕事から高齢者を介護しているが、高齢者から逆に地域の歴史や習慣を学べ、楽しみが増えている」と話した。「現在、介護士の資格を取得しているが、今後はケアマネージャーの資格なども取得し、地域の方々や高齢者の声を一人でも多く聞けるように頑張りたい」と話した。勇樹さんは、何事にもまっすぐで地域に根を張っているからこそ芯のぶれない好青年でした。

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第52回目は、麓住宅自治会の川前勇樹さんです。

◎52人目

川前 勇樹 さん【麓住宅自治会】



「寒くないですか?と優しく声をかけ体調を気遣う川前勇樹さん」

祝 第54回全国牛削蹄競技大会出場

九州牛削蹄競技予選大会第6位、鹿児島県牛削蹄競技予選大会第3位と、まだ若いながらしっかりと技術を身につけている神川城自治会の菅蒲諒一さん。九州牛削蹄競技予選大会で上位に入選した為、10月26日から茨城県水戸市で行われる第54回全国牛削蹄競技大会に出場することになり、毎日牛の飼育をしながら全国大会上位入賞に向け技術を磨いている。錦江町の畜産を担う若者の一人として、全国大会でもがんばってほしいです。



EDITORS

●先日、iphone4s (アイフォン 4s) が発表された。最近携帯電話も次々と技術が進歩し、利用する側がショートしそうな勢いだ。今回、何が凄いかと思ったのは、人工知能をもった音声認識機能が搭載されているということだ。「○○の天気は?」と携帯に聞くと「その場所の天気は○○です。」と答えてくれたり、受信したメールを読みあげてくれたり、行きたい目的地を話すと、地図が出て

道順を表示し読み上げてくれたりする。人工知能を持った機械が人間を支配するという映画があった。あと何十年か先、意外とありえるんじゃないかと不安になってきた。

●錦江町のたばこ農家が一気に減少した。8月に日本たばこ産業 (JT) が廃作を募集したところ町内に61戸のうち3分の2が

応じ20戸程度に減少した。まだ、元気な方も多く土も良質なところが多い。耕作放棄地が出ないようにたばこに代わる新たな作物などの検討が必要と感じた。たばこの生産を続けていく若い農家の方に尋ねると、「仲間や協力し合える仲間が減るのはさみしい」と話した。農業の町錦江町が今後どのように行っていくか心配だ。☹️



発行/錦江町役場

編集/企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

ホームページ/ <http://www.town.kinko.lg.jp/> 印刷/南大隅新生社印刷

